

# 地域研修(岡山県) 地域研修プログラム

: 受講必須(基本単元)

: 受講任意(追加単元)

: 受講必須(調整単元)

区分	単元	時間 (目安)	単元の概要	講師
11月21日(月)   12月16日(金) オンデマンド講義(LMSを利用)	1 防災行政概要	35分	防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学ぶ。	内閣府
	2 災害法体系	40分	防災活動の前提となる法律を学ぶ。	内閣府
	3 防災計画	25分	防災計画の基本的な知識を学ぶ。	内閣府
	4 地域の災害特性	70分	地域の災害特性(地域の脆弱性含む)、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。	岡山地方気象台
	5 警報避難の枠組み	40分	避難情報判断、住民伝達、避難行動などについて、「避難情報に関するガイドライン」を中心に学ぶ。	内閣府
	6 被災者支援の枠組み(A)(災害救助法と仮設住宅)	50分	災害救助法の概要や応急仮設住宅(建設型、賃貸型等)の提供業務の仕組みと概要について学ぶ。	内閣府
	7 被災者支援の枠組み(B)(避難生活支援)	45分	災害救助法に基づく避難所の開設・運営業務及び多様な被災者への対応について、ガイドラインや事例を交えて学ぶ。	内閣府
	8 被災者支援の枠組み(C)(生活再建支援①)	50分	住家の被害認定調査や罹災証明書交付業務の概要について学ぶ。	内閣府
	9 被災者支援の枠組み(D)(生活再建支援②)	10分	被災者生活再建支援法の概要について学ぶ。	内閣府
	10 地区防災計画	20分	地区防災計画の位置づけや策定プロセスを学ぶ。	内閣府
	11 災害応急対策	25分	災害発生時の初動対応や心得について学ぶ。	内閣府
	12 物資調達	20分	発災前及び発災後の物資調達について学ぶ。	内閣府
	13 ISUT(災害時情報集約支援チーム)	15分	GISによる統合された情報提供の必要性和ISUTの有効性について学ぶ。	内閣府
	14 災害ボランティア	20分	行政と災害ボランティアの連携について学ぶ。	内閣府
	15 復旧・復興対策	40分	激甚災害制度や大規模災害復興法の概要について学ぶ。	内閣府
	16 災害対策基本法等の改正	15分	災害対策基本法改正の全体概要を学ぶ。	内閣府

区分	単元		時間 (目安)	単元の概要	講師	
11月21日(月)   12月16日(金)	オンデマンド講義(LMSを利用)	17	災害対応力を強化する女性の視点 ～男女共同参画の視点からの防災～	50分	「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」を踏まえ、男女共同参画の視点からの防災の取組について学ぶ。	内閣府
		18	避難情報の発令判断・伝達等	40分	避難情報の判断と伝達方法について学ぶ。	内閣府
		19	土砂災害における警報と避難	65分	土砂災害における警報と避難の実務について学ぶ。	全国治水砂防協会 大野 宏之
		20	土砂災害の事例に学ぶ	20分	土砂災害の事例から土砂災害における警報と避難について、その実態を学ぶ。	岩手大学 越野 修三
		21	風水害における警報と避難	80分	風水害における警報と避難の実務について学ぶ。マイタイムライン、避難計画などについて理解し、高齢者、障がい者、外国人への配慮など、避難誘導の際に留意すべき点について学ぶ。	富山大学 井ノ口宗成 大分県日田市 梶原 秀一 平川 淳史 青木 克也 気象庁 高木 康伸
		22	風水害からの警報避難における決心	25分	風水害における警報と避難の決心ポイントを学ぶ。	気象庁 高木 康伸 岩手大学 越野 修三
12月23日(金)	リアルタイム研修 (対面形式)	9:30	開会	10分	開会の挨拶、オリエンテーション、講師紹介など。	事務局
		9:40	災害対応過程と態度を学ぶ	120分+10分 休憩	実際の災害発生時の地方公共団体の対応事例を題材に、事前対策や災害対応に対する心構えを学ぶ。	事務局 木村先生
		11:50	昼休憩	60分		
		12:50	災害対策本部における対応	160分+20分 休憩	特定状況や課題に対する災害対策本部としての対応目標の設定及び対策立案を中心とする災害対応上のポイントを学ぶ。	事務局 木村先生
		15:50	全体討論(ふりかえり)	60分	研修全体を通じて学んだことから、地域の防災力向上や備えに反映させるべきことを受講者間で考える。	事務局 木村先生
		16:50	閉講	10分	連絡事項、記念写真撮影など。	事務局